

結果の要約

1 職業

埼玉県の15歳以上就業者数(3,509,189人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業員」が1,004,527人(15歳以上就業者数の28.6%)と最も多く、次いで「事務従事者」が753,999人(同21.5%)、「販売従事者」が543,648人(同15.5%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が38,146人(13.9%)増、「保安職業従事者」が3,243人(5.4%)増などとなっている。一方、「管理的職業従事者」が15,046人(16.5%)減、「農林漁業作業員」が7,930人(9.3%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「事務・技術・管理関係職業」が36.9%と最も高く、次いで「生産・運輸関係職業」が32.3%、「販売・サービス関係職業」が26.2%、「農林漁業関係職業」が2.2%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」、「事務・技術・管理関係職業」がそれぞれ0.5ポイント、0.1ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」、「農林漁業関係職業」がそれぞれ1.1ポイント、0.2ポイント低下している。

「事務・技術・管理関係職業」=「専門的・技術的職業従事者」+「管理的職業従事者」+「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」=「運輸・通信従事者」+「生産工程・労務作業員」
「販売・サービス関係職業」=「販売従事者」+「サービス職業従事者」+「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」=「農林漁業作業員」

2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は40.7時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が49.3時間と最も長く、次いで「管理的職業従事者」が44.8時間、「保安職業従事者」が44.7時間などとなっている。平成12年と比べると、すべての職業大分類で減少となっている。特に、「サービス職業従事者」が2.4時間減、「販売従事者」が1.6時間減となっている。

3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が738,164組(夫婦数1,763,488組の41.9%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が644,667組(同36.6%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「生産工程・労務作業員」である夫婦が87,260組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の11.8%)と最も多く、次いで夫が「生産工程・労務作業員」、妻が「事務従事者」である夫婦が66,432組(同9.0%)などとなっている。

4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は846,232世帯(住宅に住む一般世帯2,590,172世帯の32.7%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は1,743,940世帯(同67.3%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が473,518世帯(同18.3%)、「女性のみ」の世帯が434,208世帯(同16.8%)、「幼児と女性のみ」の世帯が179,754世帯(同6.9%)となっている。

図1 埼玉県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

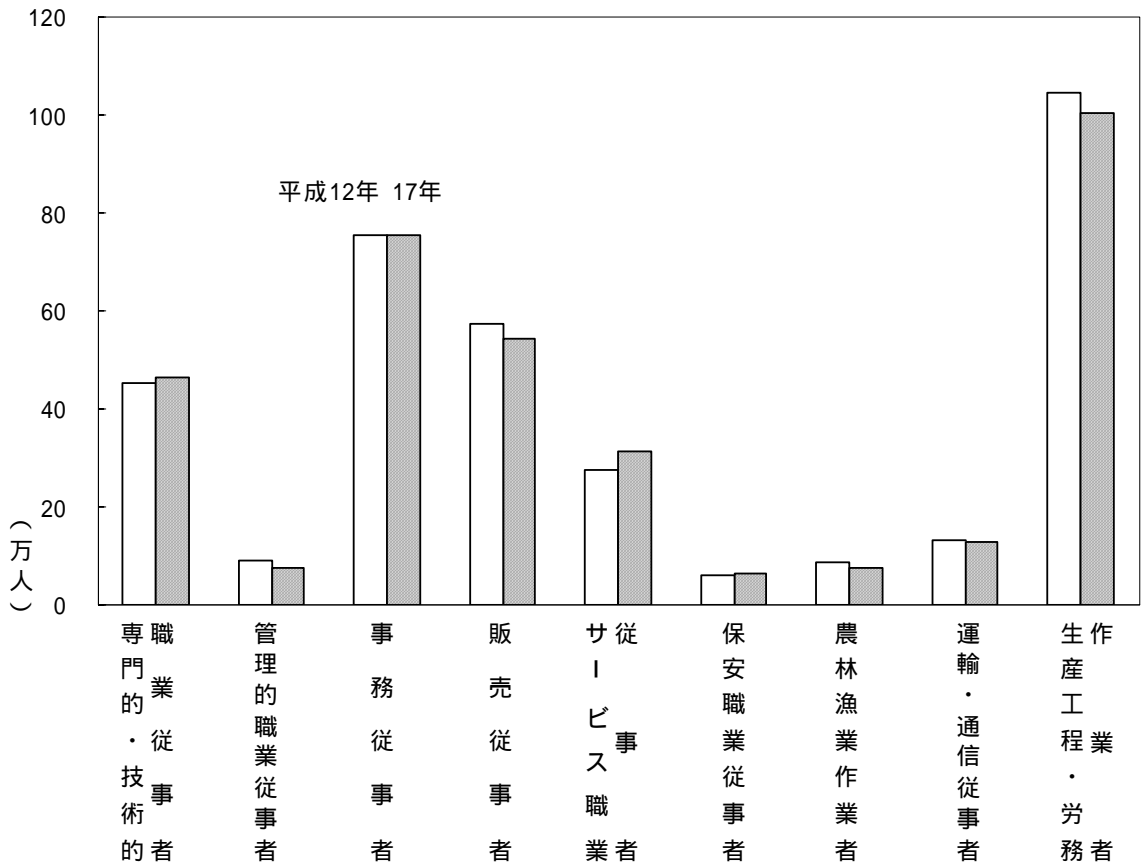


図2 埼玉県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

